

五、改善
六、司感
七、懇評當日及勤務演習召集期間内、給料ハ希望通り支給ス

別記 三

- 一、本団ニ限リ采給ハ日給ニ銀ヨリ拾五銀迄トシ會社ノ査定ニ依リ七月十五日附ラ以テ之ヲ發束ス
- 二、第三工場並分工場従業員ニ就テハ 第一工場従業員トノ均等ヲ計ルモノトス
- 三、請取作業ノ協定ハ左ノ方法ヲ以テス
 - (1) 近ク會社ガ計劃實施セントスル新制度ヲ原則トシ
 - (2) 之ガ合理化ヲ確保スベク各工場別ノ機關タル專門委員會ヲ設置ス
 - (3) 而シテ同委員會ハ 職員三名ト各工場代表六名ヲ以テ構成シ 特ニ機業ノ活用ニ重ク置ク
- 四、三、入社滿六ヶ月ヲ経過セル者ハ調査ノ上本簿トス 退職手續制ノ改正 敬業作業ノ可及的廢止工場一衛生設備ノ改善及軍事應召ニ對スル給與等ニ就テハ 右ノ委員會ニ附議ノ上制定ス

勞秘第六五八五號
昭和十年八月十日

警視總監 小栗一雄

內務大臣 後藤文夫 殿
社會局長 官 殿
各廳 府 縣 知 事 殿

株式會社昭和製作所勞働爭議ニ關スル件(第一報)

本件ハ調停課於テ斡旋中ナレモ會社側ハ名ノ解雇ヲ主張シ爭議團側ニ名以外ノ解雇ヲ認メナレ方ノ交渉停頓ノ狀態ニ在リ

要旨 (2) 會社爭議團側ヨリ残留工切崩テ警戒スルト共ニ爭議團切崩テ警戒スアリ
(3) 組合側ニテハ前記聲明書ヲ三平部印刷シ合自陸海軍其他干渉者ニ郵送ス軍部方面ニ陳

10. 8. 13
150